

船舶事故調査報告書

平成26年7月17日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵男（部会長）
 委員 庄司 邦昭
 委員 根本 美奈

| | |
|--|---|
| 事故種類 | 乗組員負傷 |
| 発生日時 | 平成25年9月5日 07時15分ごろ |
| 発生場所 | 石川県金沢港西方沖 石川県 ^{はくさん} 白山市所在の ^{みかわ} 美川灯台から真方位319° 9.8海里付近 （概位 北緯36° 37.2′ 東経136° 21.2′） |
| 事故調査の経過 | 平成25年9月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 |
| 事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等 | 漁船 ^{やはた} 八幡丸、13トン IK2-5252（漁船登録番号）、株式会社八幡漁業 19.90m×4.00m×1.43m、FRP ディーゼル機関、691kW、平成5年9月21日 第244-16624号（船舶検査済票の番号） |
| 乗組員等に関する情報 | 船長 男性 41歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成6年9月8日 免許証交付日 平成21年8月3日 （平成26年9月7日まで有効） 甲板員A 男性 44歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成24年8月10日 免許証交付日 平成24年8月10日 （平成29年8月9日まで有効） |
| 死傷者等 | 重傷 1人（甲板員A） |
| 損傷 | なし |
| 事故の経過 | 本船は、船長及び甲板員Aほか1人が乗り組み、金沢港西方において、約2ノットの速力で南西進して底びき網漁の操業中、甲板員Aが、操舵室左舷前部外板に取り付けられたキャプスタンにロープを巻き付け、キャプスタンを始動させた後、右舷側に移動して次の作業の準備を行っていたところ、ロープが巻き上がっていないことに気付いた。 甲板員Aは、作業を中断して左舷側の状況を確認し、キャプスタン |

| | |
|--|--|
| | <p>にロープが重なって絡んでいることを見付け、絡みを解こうと思い、単独でキャプスタンを逆転させてロープをほどいていたところ、平成25年9月5日07時15分ごろ、金沢港西方沖において、着用していた雨具の右袖がロープの間に挟まれ、体ごとキャプスタンに巻き込まれた。</p> <p>船長は、操舵室の右舷側の窓から甲板員Bの作業を見ていたところ、左舷側から大きな音が聞こえたので、左舷側の窓に移動し、キャプスタンに巻き込まれている甲板員Aを見付け、操舵室を出て甲板員Aのもとに向かい、同じく大きな音に気付いて駆け寄った甲板員Bがキャプスタンを停止させた。</p> <p>船長は、意識のなくなっていた甲板員Aに巻き付いていたロープをほどき、金沢港に帰りながら、携帯電話で所属の漁業協同組合に状況を伝え、入港後、甲板員Aは、金沢港で待機していた救急車により、病院に搬送され、右上腕骨骨折、腓骨骨折及び肋骨骨折と診断された。</p> |
| 気象・海象 | <p>気象：天気 晴れ、風向 東北東、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：波高 約0.5m</p> |
| その他の事項 | <p>本船は、ふだん、ウィンチ等にロープが絡んだ際には、ウィンチ等の操作及びロープをほどく作業を2人1組で行っていたものの、甲板員Aは、ロープの絡みは単純であるので、簡単にほどけると思い、単独で作業を行った。</p> |
| 分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析 | <p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、金沢港西方で底びき網漁の操業中、甲板員Aが、キャプスタンにロープが重なって絡んでいることを見付け、絡みを解こうと思い、単独でキャプスタンを逆転させてロープをほどいていたところ、着用していた雨具の右袖がロープの間に挟まれたことから、体ごとキャプスタンに巻き込まれ、負傷したものと考えられる。</p> <p>本船は、ふだん、ウィンチ等にロープが絡んだ際には、ウィンチ等の操作及びロープをほどく作業を2人1組で行っていたものの、甲板員Aが、ロープの絡みは単純であるので、簡単にほどけると思ったことから、単独で作業を行ったものと考えられる。</p> |
| 原因 | <p>本事故は、本船が、金沢港西方で底びき網漁の操業中、甲板員Aが、キャプスタンにロープが重なって絡んでいるのを見付け、絡みを解こうと思い、単独でキャプスタンを逆転させてロープをほどいていたところ、着用していた雨具の右袖がロープの間に挟まれたため、体ごとキャプスタンに巻き込まれたことにより発生したものと考えられる。</p> |

| | |
|-----------|---|
| 参考 | <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ ウィンチ等の操作及びロープをほどく作業を単独で行わないこと。・ 雨具の袖口を締め付けるなどの工夫を行うこと。 |
|-----------|---|